

全小型動力ポンプが一新

新しく導入された消防用小型動力ポンプの配置式が、8月23日久消防署南グラウンドで執り行われ、横尾市長から陣内成和消防団長に配置辞令が交付されました。市消防団各分団に配備される小型動力ポンプは前回の配備から約20年が経過しており、緊急時の信頼性の確保と機能向上のため、今年7月に1,620万円の費用をかけて全12機が新しく入れ替えられました。

また、この式典の中で、昨年度の防災事業に対して寄附をいただいた東郷孝男さん（北多久町）に、陣内団長から感謝状が手渡され、今回の新型ポンプ導入の費用に充てられたことが報告されました。その後、9月の「消防団訓練大会」に向けた各分団合同の訓練が多久消防署の協力で行われ、猛暑の中で消防署員の指導を受けながら団員は練習に励みました。



■配置辞令を受けて、参列者に挨拶する陣内消防団長。式典には新型ポンプを搭載した全消防車が整列しました。



■新型ポンプを使って訓練に励む団員のみなさん



■陣内団長から感謝状が東郷さんに手渡されました



市長のWindow

▼市民のみなさんへ

市長コラム

「よろしくお願いします」に教えられた

選挙の夏。市長選挙は総選挙と同じ8月30日の投票となり、23日にスタートした。支持を求め、必死の思いで「よろしくお願いします」と訴える。一般に選挙でよく見られる光景だ。私も同様だった。でも今回、予想を超える言葉をいただいた。

それは、握手をして「よろしくお願いします」と挨拶した時のことだった。「いいえ、市長さん、こちらこそお願いします。厳しい時代だから苦労も多く大変でしょうけれど、頑張ってください。私の方こそ市長さんにお世話になりますから、こちらこそよろしくお願いします」と返事が返ってきたのだった。

お一人ではなかった。ほかの場所でも改まった面持ちで「よろしくお願いします。市役所にもお世話になっていますから」と丁寧にお辞儀をされ、握手をしてくださった。

これらの出会いは、行政の基本、首長職の原点、そして自分自身の初心を思い起こす貴重なきっかけになった。そうなのだ、市役所は市民の皆さんの様々な生き方や暮らし方、地域活動等を支える仕事をしている。安心安全の確保から始まって、健康増進、福祉充実、教育向上、産業活性化など、実に広範囲に及ぶ。その行政サービスを必要とされたり、感謝されたりしておられる。その期待に応え、未来創造を進める必要がある。

告示日の夕刻には無投票当選の結果を頂いた。そこには市民の皆様の信頼と期待を複合させた重みがある。その重さはこの職になれば、誰もが必ず感じ、分かるはずだ。だから報道インタビューには「重責を感じる」とお答えしている。

新任期は9月17日にスタート。「志とアンテナは高く、頭は低く」の姿勢で、真摯に真剣に、奮闘努力したい。（俊彦）

市交際費支出状況

▼平成21年度7月分

支出種別	区 別	件 数	金額(円)
弔 慰	今月分 累 計	1	3,000
		6	43,750
見舞い	今月分 累 計	1	10,000
		2	20,000
御 祝	今月分 累 計	7	55,510
		18	99,805
賛 助	今月分 累 計	1	5,600
		3	17,600
激励金	今月分 累 計	0	0
		0	0
接 遇	今月分 累 計	0	0
		61	147,585
会 費	今月分 累 計	1	5,000
		7	30,500
その他	今月分 累 計	0	0
		2	6,510
合 計	今月分 累 計	11	79,110
		99	365,750

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115